

平成27年度 白岡市地域公共交通会議 (埼玉県白岡市) (地域内フィーダー系統確保維持事業)

地域の公共交通の現況

白岡市は、面積24.92km²の市域の中央をJR宇都宮線が縦断し、二つの鉄道駅(白岡駅、新白岡駅)を有している。本市の路線バスは、「JR白岡駅西口・菖蒲仲橋」「JR蓮田駅東口・菖蒲仲橋」「JR蓮田駅西口・菖蒲車庫」の3路線である。いずれもJR宇都宮線の西側地域を運行する路線であり、JR宇都宮線の東側地域では路線バスが全く運行されておらず、また、3路線のうち2路線は、JR蓮田駅を起点として市域の一部を經由し、久喜市へ運行するものであり、市民の利用者は一部に限定されている。なお、本市では、平成11年に「町内循環バス」の運行を開始したが、利用状況や運行経費などを勘案し、平成19年3月に廃止した経緯がある。

事業の目的・必要性

JR宇都宮線東側の交通空白地域における高齢者などの移動手段の確保は大きな課題となっている。市民の通院・買物などの日常生活における移動手段を確保し、交通利便性の向上を図るため、費用対効果の高い地域公共交通サービスの構築が必要である。

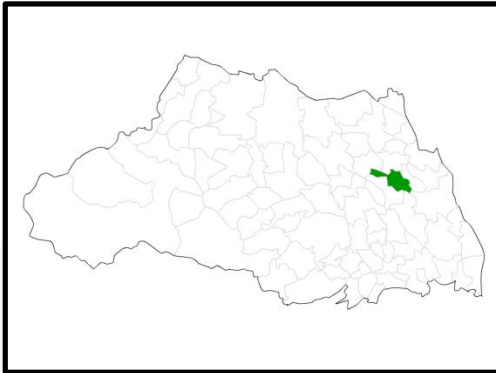
このため、本市では、協議会での検討の結果、高齢者や駅・バス停から離れた地域の居住者などを主な対象者として日常生活における移動手段を確保することを目的にデマンド交通の運行を行うものである。

事業の概要

公共交通空白地域を解消するため、デマンド交通の運行区域を市域全体とし、また、デマンド交通の運行により、高齢者や駅・バス停から離れた地域の居住者などの買物や通院などの日常生活に必要な移動手段を確保する。

【デマンド交通「のりあい交通」】

事業者名: 昭和タクシー
運行区域: 市内全域
運行日: 月曜～土曜(祝日、年末年始運休)
運行時間帯: 8時30分～17時30分
運行本数: 8便/日
運行車両: セダン型車両
運賃: 500円(障害者、小学生は300円、乗り合い利用の割引制度あり)



面積	24.92km ²
人口 (H27.1.1時点)	51,688人
15歳未満	6,579人
	65歳以上
高齢化率	24.2%
世帯数	19,936世帯

協議会開催状況

- 協議会の開催状況 2回開催
- ・第1回(5月26日)
ネットワーク計画を協議
 - ・第2回(1月25日)
事業評価について

前回の事業評価結果の反映状況

初年度のため、反映事項なし。

定量的な目標・効果

【目標】

- ・1日当たりの利用者数を40人とする。
- ・収支率を20%以上とする。

【効果】

- ・デマンド交通の運行区域は、市域の全体となるため、公共交通空白地域が解消される。
- ・デマンド交通の運行により、高齢者や駅・バス停から離れた地域の居住者などの買物や通院などの日常生活に必要な移動手段が確保される。

目標効果の達成状況

1日当たりの利用者数:26.6人
収支率:14.5%

- ・1日当たりの利用者数、収支率ともに目標には、到達しなかったが、6か月ごとに分けて運行実績を見ると、1日当たりの利用者数は、平成26年10月～平成27年3月が22.6人であったが、平成27年4月～9月は30.4人と増加している。
- ・公共交通空白地域が解消されたことで、交通弱者の移動手段が確保され、通院、買物等の日常生活における交通利便性が増したものと考ええる。

アピールポイント

地域からの意見・要望に耳を傾け、乗降場所を増やすなど、実現可能なものは取り入れている。
また、同時に2人以上で利用する際に、運賃を割り引く乗り合い割引制度を設け、効率的・効果的に事業運営ができるよう工夫している。

今後の改善点

- ・本年度が運行開始年度であることから、デマンド型交通という新たな形態に対して、市民の理解度が当初深まらなかったことが、目標に到達しなかった原因と考える。
- ・しかしながら、後半の6か月間においては、利用者数が増加していることから、次年度については、目標値を下方修正した上で達成できるものと考ええる。
- ・目標値としての1日当たりの利用者数を、平成28年度を30人、平成29年度を35人と改める。
- ・地域の自治会などに制度の理解促進、利用者の増加につなげていくための協力を求める。
- ・高齢者の会合などの機会を捉えて周知活動を展開していく。